

故人の回顧録サイト メモリアルバム デモ画面 (家族編)

注: 基 は基本セット
: 才 はオプション

The diagram illustrates the data flow from a family tree to various memorial site screens. Red arrows indicate the flow of data from the family tree to the 'Family' (基) and 'Memories' (才) screens, and from the 'Memories' screen to the 'Photo' (基), 'Speech' (才), and 'Memories' (才) screens. The 'Photo' screen then branches to the 'Photo' (才) and 'Speech' (才) screens. The 'Speech' screen branches to the 'Speech' (才) and 'Remarks' (才) screens.

Family Tree (基)

昭和27年4月21日 岩元義義、父の長男として、鹿児島県薩摩川内市高城町中湯田1番地(現:薩摩川内市高城町1640番地)にて誕生

昭和32年3月 西方清風幼年園卒園

昭和33年4月 薩摩川内市立高城小学校卒業

昭和43年3月 鹿児島県川内市立高城西中学校卒業

昭和64年4月 三井生命保険東京吉祥寺支店営業部所長

平成2年4月 三井生命保険鹿児島支社国分営業部所長

Photo (基)

思い出の写真 (基)

写真を撮影した当時の様子をメッセージにて掲載することができます。

Photo (才)

思い出の写真 (才)

写真を撮影した当時の様子をメッセージにて掲載することができます。

Speech (基)

故人の一言 (基)

家業には精を出せ

音声を録音した当時の様子をメッセージにて掲載することができます。

Speech (才)

故人の一言 (才)

家業には精を出せ

音声を録音した当時の様子をメッセージにて掲載することができます。

Remarks (才)

情熱の手紙 (才)

「ありがとう、共に歩めて幸せでした」

毎日自転車で通った高校までの見慣れた道。寂かな街並で夫が、今が今かと私を待っていると思えば、嬉しい日々も過ぎ日々も、少しも苦ではありませんでした。娘は「おはよう、帰りましたね」と声をかける私に、「ご苦労さま」と頷いてくれた真美みが今でも心に残り付いてこの想いを胸に抱いています。

夫は、沿風が秋の便りを過ぎ平成二十六年十月二十一日、八十七歳の生涯を終え、静かな穏やかな死でした。

平成二十六年十月
鹿児島県薩摩川内市平担町
喪主 岩元妙子

Remarks (才)

情熱の手紙 (才)

「ありがとう、共に歩めて幸せでした」

毎日自転車で通った高校までの見慣れた道。寂かな街並で夫が、今が今かと私を待っていると思えば、嬉しい日々も過ぎ日々も、少しも苦ではありませんでした。娘は「おはよう、帰りましたね」と声をかける私に、「ご苦労さま」と頷いてくれた真美みが今でも心に残り付いてこの想いを胸に抱いています。

夫は、沿風が秋の便りを過ぎ平成二十六年十月二十一日、八十七歳の生涯を終え、静かな穏やかな死でした。

平成二十六年十月
鹿児島県薩摩川内市平担町
喪主 岩元妙子

Remarks (才)

情熱の手紙 (才)

「ありがとう、共に歩めて幸せでした」

毎日自転車で通った高校までの見慣れた道。寂かな街並で夫が、今が今かと私を待っていると思えば、嬉しい日々も過ぎ日々も、少しも苦ではありませんでした。娘は「おはよう、帰りましたね」と声をかける私に、「ご苦労さま」と頷いてくれた真美みが今でも心に残り付いてこの想いを胸に抱いています。

夫は、沿風が秋の便りを過ぎ平成二十六年十月二十一日、八十七歳の生涯を終え、静かな穏やかな死でした。

平成二十六年十月
鹿児島県薩摩川内市平担町
喪主 岩元妙子